



中国語を 学んで広がる 視界と世界

2026年2月14日土
14:00-16:00

漢字文化圏という同じ「世界」に暮らしていても、日本語と中国語から見える「視界」は違います。

同じような意味のことわざでも、日本語ならばシンプルに伝える言い方を中国語では対やペアにして言いがちです。たとえば、日本語で「朱に交われば赤くなる」と言いますが、中国語では“近朱者赤、近墨者黒”的に“朱”「赤」と「墨」「黒」をペアにして言います。また、日本語「良薬は口に苦し」を中国語では“良药苦口利于病、忠言逆耳利于行”的に「良薬」と「忠言」を対にして言います。彼我の違いは、あっさり味の日本料理とこってり味の中華料理のコントラストを思わせます。

外国語を学ぶことは、世界を新しい視界から見る経験につながります。今回は日本語という窓の視界から中国語表現の世界を楽しむみたいと思います。

話題提供者

大阪大学名誉教授
古川 裕 氏
ふるかわ ゆたか



1959年京都市生まれ。大阪外国语大学、東京大学文学部で中国語を学び、東大大学院修了後に北京大学中文系へ留学し文学博士。専門分野は、現代中国語文法の研究と教育。

現在は大阪大学名誉教授、香港教育大学名誉教授、中央民族大学名誉教授、ハルビン工程大学客員教授、世界漢語教学学会副会長を務める。もとNHK「テレビで中国語」講師。

『チャイニーズ・プライマー』(東方書店)、『超級クラウン中国語辞典』(編著、三省堂)、『ポケットプログレッシブ中日・日中辞典』(編著、小学館)、『現代漢語認知語法與教学語法研究』(商務印書館)、『国際中国語教育中国語レベル等級基準』(監訳、アスク)などの著作のほかに、『ファイナルマスター・師父』(竹書房)、『悲しみより、もっと悲しい物語』(TCエンタテインメント)、『宇宙探索編集部』(ムヴィオラ)、『鬼才の道』(ソニーピクチャーズ)など中華圏映画の日本語字幕翻訳作品がある。

会場

大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル 5階)
第5研修室

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500
大阪駅前第2ビル5階 ☎ 06-6345-5000 (代表)

参加費 一般 2,000円 / 学生 500円

申込方法

受付事務局までメールでご連絡ください
✉ sec@kajinken.jp

定員

36名

